



急性期中心の病院です。**2次救急**や入院治療を必要とする患者さんを担当する病院です。
筑西・桜川地域において2次救急までの完結をめざし、**1人でも多くの救急患者さんを受け入れてまいります。**

<救急体制>

1次救急	入院を必要としない軽度な救急患者さんに対する医療機関。(開業医など)
2次救急	入院治療や早期の手術・再検査等を必要とする患者さんが対象。 (西部メディカルセンターなど)
3次救急	生命の危機が切迫しているなど患者さんに高度な医療を提供する医療機関。 (大学病院など)

西部メディカルセンターは、**2次救急**を担当します。

救急搬送はどうなるの？



<両病院の救急搬送受入れ状況> H27年度実績

筑西市民病院・県西総合病院を合わせて年間1,246件(1日3.4件)
→西部メディカルセンターは年間2,500件(1日6.8件)で

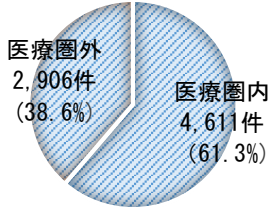
約2倍の受入れを目標

救急車が来てから受入れ病院が決まらずなかなか出発しない・・・ということがなくなるというわ。



<救急搬送の状況> H27年筑西広域消防本部搬送状況

(筑西広域消防本部搬送件数: 7,520件)



現在は医療圏内搬送が**6割程度**。
→西部メディカルセンターが**2次救急**を担うことで

約8割まで医療圏内に搬送することを目標

西部メディカルセンターの救急搬送受入れは、筑西市民病院と県西総合病院を合わせた数より、2倍も増える目標なのね。近くの病院に搬送してもらえると安心。

西部メディカルセンターでは対応できない、

重症の患者さんはどうなるの？

救急搬送は、救急隊が基準に基づき、適切な医療機関に搬送することになっています。
西部メディカルセンターでは対応できない、生命の危機が切迫しているなどの場合は**高度医療機関へ直接搬送される体制づくりを進めております。**



この地域は、30km圏内に重症者に対応できる複数の医療機関があります。そこには救急車で30分~40分、ドクターヘリでは15分で行くことができます。
全国的に見ても、恵まれた地域と言えます。

近隣にある大学病院・救命救急センター

